

龍安寺

方丈林泉

むかし細川勝元ここに別業をかまへ住せらるる時、書院より毎朝男山八幡宮を遙拜せんが為に、庭中に樹を植ず。奇巖ばかりにて風光を催す。これを相阿弥の作りし也。名づけて虎の子わたしといふ。洛北名庭の第一なり。後年塀の外の古松高く老て、昔の風景簾となる。其上近年方丈回祿しぬれば、むかしを情を慕れ侍る。

一庭ノ空曠ク白砂平シ 頑石誰カ鋪ク形勢ノ成ルヲ 宛モ似タリ昔時渡溪ノ虎 分■ス両子波ニ泛デ行ク 皆川愿